

脳腫瘍の免疫解析研究

2006年から2020年に千葉県がんセンターで脳腫瘍の診断治療を受けた方へ

1. 研究の対象:

2006年から2020年に当院にて原発性及び転移性脳腫瘍と診断治療を受けた方を対象としています。本研究ではすでに採取され保存されている手術もしくは生検組織の残りを対象とします。

2. 研究目的・方法:

「免疫」とは、「自分とは違う異物(非自己)を攻撃し、排除しようとする体の防御システム」です。正常な細胞ががん細胞になるとき、通常、非自己と認識され、リンパ球により排除されますが、一部のがん細胞が巧みにこの免疫監視機構を回避し、やがて大きながんを形成します。最近、がん細胞が免疫監視機構を回避する仕組みをうまくコントロールし、がん細胞に対するリンパ球の攻撃を高める免疫療法の開発が急速に進んでいます。近年では免疫療法を受けた患者さんの血液あるいは組織を使用した研究が進められ、免疫療法が患者さんの体内でどのような作用を示すのかを知ることができるようになってきました。このように患者さんの検体を使用することでがんに対する免疫応答を解析することができ、臨床における治療効果予測因子の解明や、新たな免疫療法の開発へとつなげることができます。

そこで2006年から2020年の間に当院にて原発性及び転移性脳腫瘍の診断治療を受けた方の採取された手術もしくは生検組織の残りをを用いて免疫にかかわるタンパク質・遺伝子の発現や遺伝子異常の解析を行い、臨床における治療効果予測因子を探索すること、また本解析結果を基盤とした新規免疫療法の開発を目標とします。

既に診療で収集している検体を利用しますので検体を新たに採取することはありません。約50名の患者さんの残余検体を解析する予定です。この研究は千葉県がんセンター研究所の研究費で実施されます。研究責任者は千葉県がんセンター脳神経外科の細野純仁です。この研究は、研究許可日から2年間の予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

既に診療で採取している検体(手術や生検にて得た腫瘍組織の残余検体)を利用します。本研究専用で別途割り当てられた登録番号を用いて管理しますので、研究の結果が公表される場合でもいかなる個人情報も院外に出ることはありません。病歴や治療歴、副作用の発生状況といった情報は使用する可能性があります。患者さんからのご希望があれば、その方の臨床データや検体は研究に利用しないように配慮いたします。また、本研究では検体の残りは個人情報がかからないようにして厳重に保管されます。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

外部への試料・情報の提供は予定しておりませんが、もしそのような場合には特定の関係者以外が開けないようなパスワードで保護し、対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。また、公共データベース(<https://biosciencedbc.jp/>や<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/>など)で個人が特定できないような形で公開することがあります。

5. 研究組織

研究責任者： 千葉県がんセンター 脳神経外科 細野 純仁

分担研究者：

千葉県がんセンター 研究所 部長代理 富樫 庸介

千葉県がんセンター 脳神経外科 部長 井内 俊彦

千葉県がんセンター 臨床病理部 杉山 孝弘

千葉県がんセンター 研究所 研究員 盛永敬郎

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

<研究代表者>

〒260-8717 千葉県千葉市中央区仁戸名町 666-2

千葉県がんセンター 脳神経外科

細野 純仁

TEL: 043-264-5431 / FAX: 043-265-4459